

様

日本被団協のノーベル平和賞受賞および核兵器禁止条約に関する 2025 年参議院選挙に向けた公開質問状

各位におかれましては、平素より国民生活の向上、安心安全な暮らしを守る使命を抱いておられることに敬意を表します。

メディアの報じるところによれば、貴殿は、来る 7 月に実施される第 27 回参議院議員選挙京都選挙区において立候補を予定されていると報じられています。

貴殿に、日本被団協のノーベル平和賞受賞および核兵器問題に対するお考えをお伺いしたく公開質問状を用意いたしました。府民の投票行動の参考に資したいと考えました。

昨年末 12 月 10 日に 2024 年度ノーベル平和賞が日本被団協に授与されました。ノーベル賞委員会が、被爆者が壮絶な被爆体験を語り続けてきたことが、「核タブー」という国際規範を形成してきたことを高く評価するとともに、いまの国際情勢でこれが崩れようとしていることに対する危機感を表明していました。私たちは、ノーベル賞委員会が、言外に、日本政府が唯一の戦争被爆国にふさわしい役割を果たして欲しいとの期待が寄せられていると読み取りました。私たちは、このノーベル賞委員会の期待は、日本国民の圧倒的多数の願いでもあると考えています。

申し遅れましたが、私たちは、核兵器廃絶を願う京都府内の団体・個人が 2005 年に情報交換や互いの運動を発展させるために立ち上げた「核兵器廃絶ネットワーク京都」（通称・反核ネット京都）と申します。反核・平和を願う京都府内のさまざまな市民運動団体の連合体として活動しています。

別紙質問用紙には、①日本被団協のノーベル平和賞受賞について、②核兵器禁止条約について、③日本政府のとるべき態度について、④核兵器禁止条約締約国会議への参加について、⑥被爆者への国家補償についてなど、貴殿のお考えをお尋ねしています。なお、アンケート結果は、私どもの団体内はもちろん、メディア各社にも公表し、府内有権者の投票行動の参考に資したいと考えています。

ご回答は、6 月 27 日までにお問い合わせ申し上げます。

2025 年 6 月 13 日

核兵器廃絶ネットワーク京都

参加団体：核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会
京都原水爆被災者懇談会
京都「被爆二世・三世の会」
原水爆禁止京都協議会
京都宗教者平和協議会
日本科学者会議京都支部
非核の政府を求める京都の会
アボリション 2000 京都
平和友の会
原発ゼロをめざす左京の会

（事務局・返送先） 核戦争防止・核兵器廃絶を訴える京都医師の会
〒604-8162 京都市中京区七観音町 637 インターワンプレイス烏丸 6 階
京都府保険医協会気付（担当：浜松 章）
TEL 075-212-8877 FAX：075-212-0707 e-mail hamamatu@hokeni.jp
（公開 HP）URL http://hikaku-kyoto.la.coocan.jp/new_network.html